

# 競 技 注 意 事 項

## 1 競技規則について

本大会は、2025年度（財）日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会要項及び申合せ事項によって行う。

## 2 競技場の使用について

- (1) 競技開始前のウォーミングアップは、各チームの指導者の指示により行う。
- (2) 競技開始後のウォーミングアップは、バックストレート等で競技に支障のない範囲で行う。（リレーのバトンパス練習含む。）
- (3) 競技において、素足は一切禁止する。

## 3 競技者の招集について

- (1) トラック競技の招集は、100mスタート地点の後方、第2局走路付近とし、フィールド競技の招集は、各ピットとする。
- (2) 競技者は、招集開始時刻に各招集場所に集合し、点呼を受け、係員の指示に従って競技場所へ移動する。
- (3) 競技への出場をやむを得ず棄権する時は、招集時刻までに本人もしくは引率者が、その旨を競技者係へ連絡する。

## 4 競技運営（方法）について

- (1) 小学3年生以上は、スパイクシューズの使用を認める。スパイクは全天候用とし、先のとがったピンは、安全上から使用不可とする。また、小学生のシューズ規則（厚底シューズ）については、適用外とする。
- (2) 800m未満（中学生800mを除く）のトラック競技は、レーンを使用して行う。棄権者があった場合、そのレーンは空けたままとする。
- (3) トラック競技は、タイムレースとする。
- (4) 小学1・2年生の50m及び100mはスタンディングスタートとし、それ以外の短距離及びリレー種目は、クラウチングスタートとし、スタブロを使用しても良い。
- (5) コールは、全てイングリッシュコールとする。
- (6) 小学生のフライング（不正スタート）は、1人が2回まで（3回目で失格）とする。
- (7) 小学生の立幅跳の試技は2回、走幅跳の試技は3回とする。
- (8) フィールド種目とトラック種目の競技時間が重なった場合は、トラック種目を優先する。トラック種目が終了し、フィールド競技に速やかに戻った場合は、3回の試技数を確保する。
- (9) フィールド競技の計測は有効試技のみ計測する。但し、全てファールの場合は、最終試技を参考記録として計測する。

## 5 ナンバーカードについて

トラック競技は、全ての種目腰ナンバーカードを右臀部に付ける。但し、リレーは最終走者のみ付ける。

## 6 用器具について

競技で使用する用器具は、全て主催者が用意したものを使用する。

## 7 表彰・記録証について

当日の賞状の配布は行わない。

## 8 その他

記録は渋川陸上競技クラブホームページに掲載する。

（記録速報QRコード）

